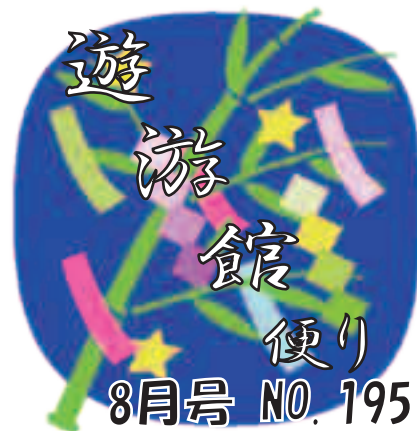


今月のピックアップ

- P1 いかだレース参戦!!
- 流しそうめん&燻製
- P2 福生七夕祭り

2015年8月20日発行 発行：遊遊館便り編集部  
 住所 〒197-0011 福生市福生2351-1  
 電話 042-553-2575 編集責任者 小川瑛/田村勇典  
 URL <http://www.npo-ysc.jp/>



# いかだレース参戦!!!

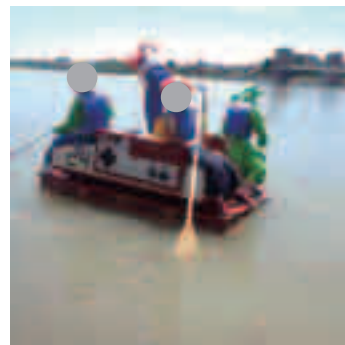
7/19(日) 狛江市で行われた、第25回多摩川いかだレースに我々YSCも初出場してきました!

他のチームが色んな趣向を凝らしたいかだを並べている中、私たちの”ファミリーコンピューター号”も堂々たる風格! しかも、いかだを漕ぐ4人は、それぞれマリオ、ルイージ、キノピオ、ヨッシーに変身するという徹底さで、完璧な”マリオワールド”をかもし出していました。

ドキドキワクワクどんな展開になるのか、いよいよレース開始! ルールは、1500m下流へ漕ぎ、そのタイムを競うというもの。次々と他チームがスタートし、遂に私たちの番。みんなでいかだを運び、入水。設計士”A.Ogawa”に抜かりはなく、安定感抜群!! 誰もが「これは、いける!!」と思ったはず・・・だったが、歴史深いこのレースはそんなに甘くはなかった。

- 波乱その① 4人で漕ぐのは息が合わせづらく、進行方向が安定しない
- その② 水深情報が正確につかめず、浅いところに入水し座礁
- その③ ヨッシー落ちる
- その④ いかだの重量が重く、漕いでも漕いでもなかなか進まない

特に、波乱その④は漕いだ人にしかわからないであろう”果てしない感”。腕に蓄積されていく乳酸との闘いは、まさに自分への挑戦。レース中に、子供たちから「マリオがんばれー!」などの応援もあり、紆余曲折はありましたが、なんとかゴール地点にはたどりつくことができました!! 結果は、タイム26分18秒で85位(88チーム中)でした。(ちなみに、1位のタイムはなんと7分35秒!) いい結果とはいえませんが、みんなで協力して作りたいかだを完走させたことでそれぞれの胸に何か残ったのではないかと思います。快晴で暑い中みなさん本当にお疲れさまでした!(staff 田村)



# 流しそうめん&燻製

今年も夏が来たー! 連日猛暑、涼を求め、もはやYSC恒例行事(?) 流して流して流しまくりました、そうめん!!

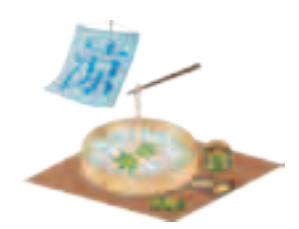
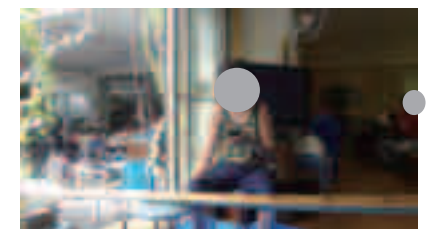
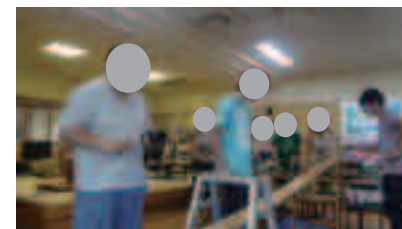
意外とやったことない方も多いのでは? 私、田村も初体験でした。竹と脚立とホースで製作した”流しそうめん装置”を食堂に設置。

さあ、次々に麺を投入。怒涛のごとく流れくる麺を逃すまいと、みな箸を繰り出す。キャッチミスが続出するかと思いきや・・・みなさん上手に麺をゲットしていましたね(^) 流れくる麺をひたすら食べまくり”わんこそば状態”になっている者、水量を増やしてもっと速く流れる麺に挑戦する者、麺を投入する側にまわる者、それぞれ楽しんでいました。初めは興味を示さなかった者も、その空気に誘われなんだかんだ”流しそうめんプレイヤー”になっていました。

そして、流しそうめんだけではさみしいとのことで、燻製を作りました。ダンボールと網、針金で製作した”スモーク装置”。

最初はチーズだけでしたが、意外にみんなから高評価、いつのまにかベーコン、ウィンナーさらにはサーモンやちくわまで登場するというリッチっぷり。燻製をつまみに飲んだり、しゃべったりといい感じの”休日”になっていました。

燻製はじっくり作るの、バーベキューとは違ったまったり感があって良かったですね(^) (staff 田村)



編集後記

私、編集担当になりましたって思ったことが1つありまして・・・「おれって、語彙力ねーな(汗)」でことで、さっそくBOOK OFFに行き、本を買いました。まあ、本棚の肥やしになってるんですけどね(苦笑) いいんです、まずは”行動すること”!! SEE YOU NEXT MONTH!! (staff 田村)

来月の予定

合宿訓練 8期修了  
 合宿訓練 10期開講

# 毎年恒例イベント! 福生七夕まつり に出店してきました!

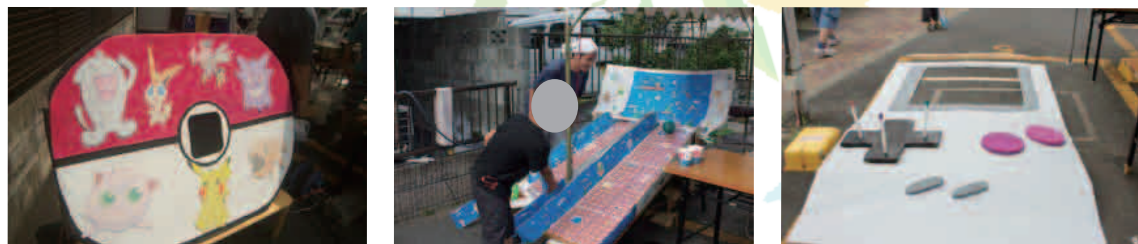
## 祭りじゃ、祭りじゃー!!!

ついにやってきました、福生七夕祭り!今年で第65回目を迎えるこの祭りには毎年私たちも出店させて頂いています。なので、単に祭りを楽しむだけではなく接客や販売も経験できるイベントであり、就労に向けた活動でもあります。8/8(土)、9(日)と夏真っ盛りで絶好の祭り日和。私たちは王道の焼そば、焼き鳥、かき氷、ドリンク、ヨーヨーで勝負してきました。

## 今回のテーマは、“ゲーム”

今回の模擬店作りでは新たな試みとして、買いに来てくれた子供たちが楽しんで貰えるように各模擬店にゲームコーナーを併設しました!

準備段階ではそれぞれの各模擬店でチームに分かれて、輪投げや的当て、ボーリングといった子供たちに楽しんで貰えるようなゲームを作ることになり、いかだレースに引き続きNINTENDO押しでポケットモンスターやマリオといったキャラクターをベースにアイデアを出し合い試行錯誤しながら開店前日まで作成していました。



いよいよ当日。それぞれの寮生が担当模擬店に手作りしたゲームや看板を設置。調理や接客、ゲームコーナーの対応、客の呼び込みなどを各模擬店のチームごとに役割分担を決め、いざ開店!!

店が通りから少し奥まった場所にあるせいか、暑さのせい、初めは客足が鈍かったが日が暮れる頃にはお客さんも入り始め。祭りでの接客は経験のない利用者たちにとっては関門なのですが、勇気を振り絞って接客を行っていました。最初は勇気がいった様子でしたが、慣れてくると自然と声が出せるようになるなど、成長を感じさせるものでした。

屋台調理も当日ぶっつけ本番。大きな鉄板での焼そば調理で味つけの具合や焼き鳥の焼き加減など初めはなかなかうまくいかないもの。次から次にくるお客さんへの対応に戸惑っていたもののしばらく経つとチーム内で上手く連携を取り合い、お店を切り盛りしていました。



お互いの普段とは違った面が見られるのも、こういうイベントの醍醐味の1つで、客引きでふなっしーも顔負けのハイトーンボイスと巧みな言葉で通りゆく人々の注目を一気に集めるカリスマ性を見せる者、器用な手つきで魔法のごとく風船で動物を作り子供たちの笑顔を湧かせる者、不屈の精神で一心不乱ひたすら焼き鳥を焼き続ける者などみなさん大変輝いて素敵でした。どんな人でも必ず”輝ける瞬間“があると思うし、祭りをきっかけに周りはもちろん自分でも気づかなかった”My光”を発見できれば、それが少しでも今後歩む道を照らし進みやすくなるのではないかと思います。みなさんは、何か見つけられましたか? (staff 田村)

